
太陽

大島なるみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

太陽

【Nコード】

N2186E

【作者名】

大島なるみ

【あらすじ】

辛い現実はいつも夢の狭間にある。だから僕は待つ。余すことなく降り注ぐ、太陽の光を……。スキマスイッチの楽曲よりインスパイアを受けた作品です。

（前書き）

スキマスイッチ様、および関係者様とは、一切関係はございませんので、ご了承下さいませm（――）m

辛い現実とは、いつも夢の狭間にある。

だからいつか夢の狭間から注ぎこむであろう、その光を僕はずっと待っていたんだ。

余すことなく降り注ぐ、太陽の光を……

『太陽』 Inspired Song by Sukima S
Witch

その教室内で、僕は石のような存在でありたかった。

危険が降り掛かる時、僕は身も心もかたくなに、まるで雨に打たれている木の葉みたいになだれる。

そして、今日も僕に降り注ぐのは、光ではない。

代わりに浴びせられているのは、いつも変わらない言葉のナイフだ。

「お前さあ、何で学校来てんの？」

「もう来んなって言っただろ。耳ついてんのか？」

そんな嘲笑の中で、声の主は僕の耳を乱暴に引っ張った。

次第にじわじわと強くなる痛みに、僕の身体はさらにかたくなで心はその重みでしなだれていく。

「目障りなのよね」本当」

痛みを増す耳には、そんな嘲笑が絶え間なく注がれてくる。

それに対して、僕は反論もせずその手を振り払うこともせず、ただただ俯いているだけだった。

（早く終わればいいのに…）

力なくそんなことを思いながら。

いつからか分からないけど、僕はそんな考え方しか出来なくなっていた。

以前だったら、もっと相手に対して事を強く伝えられたはずなのに。

でも、そうすればそうするほど、周りはエスカレートしていった。

「反応なしだよ。つまんねえ」

「前みたいに、センコーでも呼んでくれば？」

俯くだけの僕に、まだ声は降り続く。

雨のように絶え間なく。

でもその一方で、ふと思うこともあるのだ。

この現実が夢の狭間にあるのだとしたら、この雨も止む時が来る。今は突き刺さる言葉も、嘲笑う声も。

僕には夢ではなくて、紛れもない現実だけど。

先にある未来に立つ僕が居るとしたら、この時間の上に存在することになって。

そうすることで、いつかの未来に立つ僕が向かい合うはずの今日を乗り越える糧に、この現実はなるんだ。

そうならば、ただ堪え忍ぶだけでなくて。

たった1つだけでいいんだ。

この現実で何かを成し遂げられたら、いつか夢を描く未来、僕はきっと光に出会えるだろう。

だから……。

「…また、ずっとだんまりかよ」

「本当つまんねえ奴だよなあ」

次第に僕を取り巻く声にはため息が混じり、もう行こうぜ、の声で遠ざかっていく。

きっと僕が、まだ雨に打たれている木の葉みたいに、しなだれてしまう可能性は否めない。

いや、もしかしたら、その可能性の方が高いんだ。

だけど、その光を求めるなら。

たった1つの、その勇気を。勇気を示す意味を手にしよう。

これは、まだほんの始まりの一步にしか過ぎないけれど。

描く未来のその為に…。

僕は心の奥何度も言い聞かせながら、遠ざかっていく声に向かい、
ゆっくりとその足を踏み出してみる。

まだ遠い未来に待つ、焦がれる光が、その時ほんの一瞬だけど
僕には見えた気がした。

終
・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2186e/>

太陽

2010年10月30日05時46分発行